

倉敷 JC

[岡山]

JCで学んだ理念や運動を さまざまにフィールドで生かす

倉敷

JCは1956年3月5日創立、認証番号

80のLOMとして一昨年に50周年、本年で52年目を迎えました。シニアクラブは現在、代表世話人の鴨井恒夫、大久保憲作以下、364名を有しております。

シニアクラブの集まりは毎年現役の新年互礼会と一緒にされる年1回のシニアクラブ総会、現役との合同懇親会、8月の現役例会後の合同懇親会、卒業生送別会、じやがいもクラブ、野球部などで現役

の支援、シニア同士の交流を行っています。

観光都市・倉敷は国際観光にも力を入れていて、倉敷JCも96年にJCI国際アカデミーを開催し、ASPAC、世界会議では93年以来、常にジャパンナイトのブースを出し続けています。

特に96年の国際アカデミーはそれがどのようなものか理事長以下一部の役員しか分かっていなかったため、当時のメンバーは海外のアカデミー参加者の対応やプログラム

で、真剣さあり、笑いあり、涙ありの事業でした。それが今となってはシニア間でのいい思い出になっていて、当時の話に花を咲かせています。

90年前半まではあまり日本JCにコミットしていなかった倉敷JCも2000年代には多くの役員を輩出し、日本JCとの距離が本当に近くなったと思います。

どこのLOMでもそうだと思いますが、倉敷のまちもJCの出身者が各界で活躍しています。願

わくは、現役には視点は倉敷、視野は日本、世界に広がってほしいと思います。

青年会議所で学んだ理念や運動を別のフィールドで生かすことこそが現役から見たシニアの



2006年度8月現役例会後の合同懇親会



第2回LOMじやがいも大会



3JCじやがいも大会

魅力ではないでしょうか。同時にJCの友情を持ち続けていくことができる、そんなシニアクラブでありたいと思っています。

日本JCシニア・クラブ

監事 高竹和明